



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -



～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

活力漲る楽しいロータリー

世界へのプレゼントになろう

2015-2016 R.I.会長メッセージ

第1198回例会 2016年2月17日 No.1167号

■ 会長時間



副会長 武田 龍雄

本日は川中会長がご欠席の為、代読となります。

第3例会唱和 ロータリーの理念(超我の奉仕)

*人は自分1人では生きていける存在ではない。お互い支え合い、助け合ってこそ生きて行けるのである。

*人と人との支え合いは、思いやり、分かち合い、関わり合いである。相手の身になって、思いやりの心を持って関わり合うことが「ロータリーの奉仕」の根本理念である。

*「奉仕第一、自己第二」奉仕の中にこそ、幸福は存在する。奉仕の苦勞は、これを受け、まあこれに打ち勝つことにより人生を高めるものである。

*ロータリーの奉仕とは、人と社会との関わり合いの基本として「超我の奉仕」を適応することである。

2月度第3例会を迎えました、本日は東京で業界のPR協議会(運営委員会)が2か月ごと第3水曜日にあり、やむ負えず欠席致しますこととお詫び申し上げます。

もう一点、今日の卓話を伊藤会員に先の行われたRYLA(ロータリー青少年指導者育成プログラム)へ参加して、と題してお願いし、私自身も大変興味あるお話が聞けません事お許しください。

今月は先週も申しましたが平和と紛争予防、紛争解決月間です。北朝鮮のミサイルなどで東南アジアの諸国の国防費だけが増え続けています。国際平和都市を宣言いたしている広島にとっては忌々しきことです。今こそ広島地区14ロータリーの存在感を現す時のようです。まずはロータリー平和フェローにふさわしい若い候補者を集め推薦することから始めましょう。

今回の例会(2月24日)

来賓卓話
(株)中国放送 アナウンサー
坂上 俊次 様

次回の例会(3月2日)

クラブフォーラム

出席報告 (例会運営委員会)

2月17日(水)出席者
会員総数 51名
出席会員 40名
欠席会員 11名
ご来賓 0名
ご来客 1名
ゲスト 0名

来賓者紹介 (親睦家族委員会)

2月17日(水)出席者
広島中央RC 1名

幹事報告 (高野憲一郎)

■お知らせ

- ・次週のプログラムは株式会社 中国放送 アナウンサー 坂上 俊次 様の卓話となります。
- ・本日、発行の週報を受付へ置いておりますので、必要な方はお持ち帰り下さい。

【例会】毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】川中 敬三

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】高野 憲一郎

【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

会 員 卓 話

RYLAに参加して

国際・新世代奉仕委員長
伊藤 弘幸 会員

昨年の11月14、15の二日間、萩で開催されたRYLAに参加してきました。今年度のテーマは『至誠～原点に立ち戻りリーダーシップを学ぼう』でした。ホストは萩RC、子ホストは萩東RCです。参加者は受講生51名、ロータリアン53名の総勢104名でした。RYLAとはRotary Youth Leadership Awards 略してロータリー青少年指導者養成プログラムの事です。20歳から30歳までの若い人々の為に実施するプログラムで1泊2日の萩での研修でした。昨年のNHKの大河ドラマ『花燃ゆる』の場所で開催されました。萩と言えば、懐かしい思い出があります。確か小学生の頃、家族旅行で松陰神社に行ったときです。大きな石碑に『親思う心にまさる親ごころ、けふのおとずれ何とときくらん』と、書かれた石文を読んで、勉強が苦手な私が1度読んだだけで、すぐに覚えたことが、不思議で不思議でしょうがなかったことです。でもその意味は後から私が思った意味とは少し異なっていたことがここ最近分かったことも確かです。還暦を過ぎたら、親を思う心に、子を思う心 と、歳を取ったものです。



話が横道にそれました。皆さん、RYLAはどんなことなのか分かる人はいますか？広島北RCが創立されて25年間この研修に誰も参加したことがない……正直驚きです。私は何年か前に下田会長、石川副会長、瀬川幹事のもと副幹事にさせていただきました。毎月5人で昼食をとりながら、一年間、今月は、は何をする、これをする、いろいろ勉強をさせていただきました。その、あるごとに、下田会長が『RYLA』、『RYLA』と言われているのをズ～と聞いていました。その、RYLAに私が参加出来るのか？と、とても楽しみでした。RYLAは青少年を未来のリーダーに育てる研修だそうです。RYLAについては渡部前会長の時『ロータリーの心と原点』という冊子を配布していただきました。その中に、1960年代からロータリーはいい意味でも、悪い意味でもいろいろな外部活動を始めました。インターアクト、世界社会奉仕(WCS)、ローターアクト、そしてRYLA、そして青少年交換も始まりました。と、書かれています。1971年に公式に採用され、主な目的は、リーダーシップの養成と若い人々の成長を助ける奉仕活動だそうです。スケジュールは手元に配布しています、資料を見てください。

※ 初日11時から萩RCの安藤副会長の挨拶で始まり、萩RCの金子RI第2710地区青少年奉仕委員長よりRYLA説明があり、RYLAの目的、ロータリーが考える我々若者に望む事等が話されました。詳しくは手元の資料の『広島東ロータリークラブ会報の11月号』を読んでみてください。広島東ユースクラブの会員の方の素晴らしい報告書が書かれています。

※ 昼からは基調講演を松陰神社の宮司である上田俊成氏と萩博物館特別学芸員の一坂太郎氏の講演を聞きました。

セミナーハウスで松陰神社の上田宮司さんが『松陰先生と塾生たち』について基調講演されました。自分が住んでいる町や自分の歴史を知って、自信を持って前に進みましょうと呼びかけられておられました。話の内容は手元の資料を読んでください。夕刻には、一坂先生の基調講演を聞きました。一坂先生は『吉田松陰とその家族』、『高杉晋作』と何冊も本を出版されている有名な方です。内容はやはり上田宮司の話と同様に自分の生まれた萩の町や歴史を知り自分を見つめ、自分を大切に。と言われ、内容は異なりますが、日本の未来やこれからの日本の姿などを話されたと思います。詳しい卓話内容はこれまた萩RCからレポートが送られてくると思いますので、興味のある方は読んで下さい。松陰神社の見学では、上田宮司の案内で松陰神社に行き、そして実際に今回の研修生の人たちは、あの世界遺産となっている、松下村塾の畳の上に正座して卓話を聞いていました。高杉晋作、久坂玄端や伊藤博文が座ったその場所で正座での卓話時間の姿はなんとも言えない光景でした。“これがロータリーなのか”と感動しました。

会 員 卓 話

いろいろな勉強をさせていただきました。20代から30代の若者が、未来を想像したり、夢を語ったり、自分のあべき姿を探す。まるで高校生や学生の時に一人悩み、一人悶々としていた青春時代を思い出しました。きっと、今回参加された皆様も、歳を取った時には、またいい思い出として心に残る事でしょう。私は還暦を超えました。還暦をすぎた途端に言葉は悪いですが『やられたら、必ず、やられたらやり返すぞ』と内向きに胸に秘めていた事が、最近、外向きに、若い人達に目が向いています。これも歳のせいだと思います。私もいろいろな経験をさせてもらいました。何故神様は私だけに、何故そんなつらい事をさせるの？・・・私は何も悪い事はしていないのに・・・と何度も何度も恨んだこともあります。でもいまは若い人が、伸び伸びと、前を向いて行っよ。何か、私でも手伝う事があれば手伝うよ、と、今までの私が、私でない自分に、驚かされます。これも広島陵北RCに入会できたおかげだと思います。いまさら、福田会員、下田会員には感謝です。だから私は今、あまり怖いものはありません。だから少しこのクラブでも『厚かましい』と思っています。皆さん、もう少し待って下さい。このクラブで『こころ豊かなロータリアン』になろうと思っていますので。

また話が横道にそれました。そして夜は萩で最も有名な料亭で懇親会がありました。広島にはもう残っていない料亭です。この懇親会で多くの人達と名刺交換をさせて、いただき、いろんな話を聞いて帰りました。私にとってとはとても有意義な時間でした。懇親会も終わりこれから最も、楽しい萩の夜の町です。菅会員がこの場におられたら、もっともっと、楽しい時間が持てたのに、と少し残念でした。鈴木さん やはりロータリーは“ 親睦に始まり親睦に終わる ”ですね。二日目は、私が夜の萩を楽しんでいる時間に、受講生は夜の22時過ぎまでグループに分かれてディスカッションをした事の発表です。まるで私が学生時代に西日本の大学が集まり、いろんなディスカッションをし、グループの皆の前で、寸劇や歌や踊りなどでグループ発表した当時を思い出しました。とても、ういういしく、また、懐かしい発表風景でもありました。そして最後に全体講評の後2015-2016年度がハナエレ田原会員の挨拶で二日間の研修を終えました。この二日間は私にとってかけがえのない研修となりました。

皆さん、とくに若い会員の皆様は是非一度このRYLAに参加されて、自分自身を、そして若い人々をサポートしてあげる、きっかけとして、いただければ嬉しいです。ロータリーは『会員間の友情』、『寛容の精神』、そして川中会長が常に言われている『職業分類』などで成り立っていると思います。そこから『He Profits Most Who serves best』、『Vocational Service』と色々な言葉を知りました。また『ロータリーの心と原点』を読んでいると、福岡ロータリークラブには奨学基金が1億2,300万円あると書いてありました。凄いなーと思います。堀江会員が『何事をするにもお金の蓄えがないとロータリーらしいロータリー活動はできないよ』といわれていることも少し納得します。今回RYLAの研修に参加して入会五年目の62才の私がどんな『こころ豊かなロータリアン』になっていくのか自分も分かりませんがしっかりと前に進んでいきたいと思っています。

そこで、私の思いを少し話させて下さい。我々広島陵北RCにはクラブテーマとして『心ゆたかなロータリアン』を掲げています。今年度より長期計画特別委員会が長期ビジョン特別委員会と改名されています。そこでは主にチャーターメンバーの会員の方々がいろいろと“ 明日の広島陵北RC ”について討論をされていると聞きます。チャーターメンバーの方々がどういった思いで、この広島陵北RCを立ち上げたのか？そして今から進む我がクラブが目指す具体的な道筋はどこなのか？まだ入会して未熟な私ですが、どうぞ諸先輩の会員の皆様、若い広島陵北RCの会員が燃えるような、まさに吉田松陰が言う『志』、『広島陵北RCの志』や『想い』を伝えていただければもっと会員も入会しやすいのではないのでしょうか？

最後にここ1~2週間の間に脳科学者の茂木健一郎氏の本を何冊か読みました。たまたま、茂木氏が萩の松下村塾について、書かれていた文章を、抜粋し、この場で、読ませていただき、卓話を終えたいと思います。

会 員 卓 話

『幸せとは、気づくことである』 茂木健一郎 著

ここに、素晴らしい教育機関と、卓越した教育者の事例がある。学びの場は、小さな一軒家。教師は、まだ、二十代の若者。講義をした期間は、たった二年あまり。

ところが、この『私塾』が、新しい時代を切り開き、画期的なイノベーションを起こす者たちを輩出した。言うまでもなく、山口県の萩市にある『松下村塾』のことである。

吉田松陰が教えたのは、むしろ『心の整え方』だった。基盤となったのは、『陽明学』の思想。『心即理』や『知行合一』といった考え方を通して、世の中の状況がどうであれ、自らの信念を実践においてつらぬく、そんな生き方の大切さを講じた。

『世の中に役に立ちたい』『市場のニーズに応えたい』『もっと自由で、創造的な社会をつくりたい』。そんな『思い』がぶれさせなければ、いつかは方法が見つかる。そんな心の整え方を、吉田松陰は塾生たちに伝えた。

日本の学問はまさに『いかに心を整えるか』を中心的なテーマとしていた。スティーブ・ジョブズ氏も若いときに日本の禅僧に『心の整え方』を学んだ。

松下村塾、こんな小さな家から、新時代を切り開く人材を輩出したとは・・・自分たちにも、まだまだできることがある。

【最後に】

明日の世界のために、『明日の広島陵北RCのために』、心を整えることから始めよう。

今日はRYLAで研修させていただき、この場で、卓話をさせていただき、機会を、つくっていただいた、広島陵北RCの皆様に感謝、申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

連続100%出席表彰

石田 愷夫 会員が25年連続100%出席されました。おめでとうございます。



武田副会長、石田会員

SMILE BOX

.....SMILE BOX

川中敬三 会員

本日は例会を欠席しますが、宜しく願います。

愛谷俊治 会員、石田愷夫 会員、信原弘 会員、
瀬川長良 会員

昨日、2月16日野球同好会で船場会員の社長就任祝いをしました。野球同好会メンバーのほとんど参加していただきました。ありがとうございました。

船場誠吾 会員

昨日はお祝いの会を開いて頂き本当に有り難うございました。若輩者でございます。今後共ロータリーの皆様方の変わらぬご指導の程宜しく願い申し上げます。(大枚)

当日計	21,000円	累計	652,000円
-----	---------	----	----------